

音楽の歴史と社会

研究者プロフィール

- ・ 文学部総合人文学科教授 椎名 雄一郎
- ・ 音楽
- ・ パイプオルガン演奏、J.S.バッハ作品研究、キリスト教音楽
- ・ 日本音楽学会、日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会
- ・ 『パイプオルガン入門 -見て聴いて触って楽しむガイド-』
東京、春秋社、2015年
- ・ オルガン演奏の他、各地で音楽に関する講座をおこなう。



研究内容

- ・ 専門はパイプオルガン演奏とJ.S.バッハのオルガン音楽に関する研究
- ・ 近年はJ.S.バッハとそのオルガン作品、さらには当時の社会状況から、バッハ作品の成立事情を研究している。
- ・ キリスト教音楽に関する研究をおこなっている。
- ・ キリスト教音楽は現在の日本で聴かれる音楽の源となっていることから、西洋音楽史から現代の音楽まで幅広く、講座を開催している。
- ・ オルガン演奏に関しては、日本の各地のコンサートホール、教会での演奏会に加え、講習会、またドイツ各地で録音をおこない、その成果をCDとして公表している。

関連キーワード

音楽 オルガン パイプオルガン キリスト教 キリスト教音楽 J.S.バッハ

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・ 音楽というツールを通して、社会を読み解く講演、講座が可能。
- ・ 音楽分野では、音楽の歴史について、また17,18世紀の演奏実践についてレッスン、講座など、おこなってる。
→これまで東北地方をはじめとして各地のホールで公開レッスン、講座を定期的に担当している。
- ・ これまでも学術的な刊行物の他、一般向け雑誌等に、エッセイ、書評、音楽に関する内容を定期的に掲載している。

研究者への連絡先

E-mail アドレス shiina@mail.tohoku-gakuin.ac.jp